



函南町立桑村小学校だより 5月号

令和3年5月



さくら



校訓「ほんきで なかよく きまりよく」【学校創立148年・地域に支えられ、がんばる桑っ子】

学校教育目標 …「なかまとともに 学び合う 桑っ子」

重点目標…「認め合い 高め合う子」

桑っ子たちにつけたい力

文責：教頭

新学期がスタートして一か月が過ぎました。不安そうな顔の1年生も元気な桑っ子の仲間入りをしました。校舎前の芝生広場では大きな声で遊んでいる姿が見られます。

各学年での授業も始まり、さまざまな活動を通してつけたい資質・能力の育成を図っています。

「つけたい資質・能力」とは・・・

互いに気持ちよく生活する意義を理解する（知識・技能）

互いによい集団を作るためのコミュニケーション能力を身に付ける

（思考力・判断力・表現力）

互いに尊重し、より良い自分や集団をつくろうとする

（学びに向かう力・人間性等）

コミュニティースクールとは？

桑村小学校はコミュニティースクールです。コミュニティースクールとは、次のように規定されています。「学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え『地域とともにある学校づくり』を進める法律に基づいた仕組みです。（文部科学省HPより）

つまり、「桑村小学校の子供たちの豊かな学びを支えるために学校・家庭・地域の三者が連携して取り組みましょう。」ということなのです。これまでも桑村小学校は地域と密接につながった教育活動を行ってきました。今まで行ってきたことはコミュニティースクールの取組と同義です。コミュニティースクールとは新たな取組を行うのではなく、これまでの取組を整理し、分かりやすくまとめたものといえます。

子供たちの学びを支えるためには学校だけでなく、家庭及び地域の関わりや協力が必要です。必然的に学校からはお願い事が多くなりますが、それだけでは一方向だけのやりとりになってしまいます。双方向のやりとり（協働）を進めていくために学校は情報を公開するだけでなく、保護者や地域の皆さんの意見を学校運営により一層反映させています。

子供たちの豊かな学びや健やかな成長のためにお力を貸していただきたいと思います。桑村小学校の学校教育活動へのご協力をお願いします。



【天気に恵まれ お茶摘み体験】

お茶摘み体験も地域にお住まいの秋山さんの協力を得て行うことができました。これもコミュニティースクールの活動の一つです。

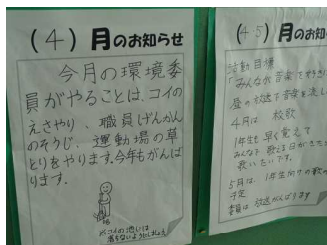


主な行事予定



日	曜	給	週	行事予定	日	曜	給	週	行事予定
1	火	○	A	代表委員会 眼科検診 朝会	16	水	○	A	縦割り遊び 桑村道場
2	水	○	A	桑村道場 (開校式)	17	木	○	A	マルベリー
3	木	○	A	読み聞かせバイキング～7日	18	金	弁	A	5時間授業
4	金	○	A		19	土			
5	土				20	日			
6	日				21	月	○	B	交通安全リーダーと語る会 自由参観 (午後) 懇談会
7	月	○	B		22	火	○	B	自由参観 (午後)
8	火	○	B	貧血・生活習慣病調査6年	23	水	○	B	自由参観 (午後) 桑村道場
9	水	○	B	桑村道場	24	木	○	B	交通安全教室 (中高)
10	木	○	B	ふうせんかづら1年	25	金	○	B	あのねタイム～7/2
11	金	○	B		26	土			
12	土				27	日			町青少年健全育成大会
13	日				28	月	○	A	
14	月	○	A		29	火	○	A	委員会活動 代表委員会
15	火	○	A	リレー会	30	水	○	A	縦割り遊び

委員会活動スタート！-よろしくお願ひします-



4月20日の朝会にて学級委員、委員会の委員長の任命式が行われました。

この写真には2階の踊り場に掲示されている各委員会活動の活動内容が書かれています。

どの委員会も活動内容については書いてありますが、いくつかの委員会の掲示物には「～します。今年もがんばります。」という「意気込み」が書かれていました。

委員会の活動計画には「お願い事」はよく書かれる内容ですが、「主体的に関わろうする」文を見かけることはあまりありません。

このような意気込みを書くことできる桑村小の子供たちの委員会活動に期待がふくらみますね。

Google Chrome貸与式を行いました



ギガスクール構想の一環として一人一台タブレットが配置されることになりました。本校でも準備を進め、高学年から校長先生から貸与されるという形での貸与式を行いました。

校長先生からGoogle Chromeを受け取った子供たちは、どの子もうれしそうな顔をしていました。早速、授業でも使い始めました。子供たちの「個別最適な学び」への一助となることと思います。大切にそして、有効に使ってくださることを期待しています。